

第2回白浜地区学校再編検討委員会次第

日時 平成21年1月15日 午後7時

場所 フローラルホール 2階会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 幼稚園、小学校の位置について

(2) 個別合意事項について

① 通園、通学支援について

② 園児、児童の交流事業について

③ PTA組織と行事について

(3) 幼稚園、小学校の再編（統合）時期について

(4) 第3回検討委員会の日程について

4. 閉会

第2回 白浜地区学校再編検討委員会 議事録

平成21年1月15日（水）午後7時
白浜フローラルホール 2階会議室

記録者 岡崎 靖
石井 恵子

欠席委員 なし

1. 開会

2. あいさつ

委員長 本日の会議は、位置について審議を予定している。白浜地区の子どもたちにとってよりよい環境を作っていく協議をお願いしたい。

教育長 気持ちよく勉強できる、学力がつく、運動ができる、良い教育環境を提供したい。現状は、過疎地域の人口減少の問題などにより学校再編を進めている。今後は、悩みを共有しながら問題解決を図りたい。

3. 議事

事務局 要綱により、委員長が議長となる。

委員長 委員は全員出席により、会議は成立。

第1号議案 幼稚園・小学校の位置について。協議に入る前に、事務局より再度、両小学校の現況等について説明を求める。

事務局 配布資料により、児童数の現況と推移を説明。統合後も、学年1クラスであることを示す。

施設概要について説明。長尾小学校については、旧滝口中学校校舎（S27 竣工）を教室棟として活用。白浜小学校校舎は、S49 竣工。

位置関係について、白浜小学校の方が白浜地区の地理的中心に近い。

委員長 説明を参考に審議に入る。質問・意見を求める。

委員 位置、建物(耐震性)、人数から白浜小学校校舎を活用することが良いと考

える。

委員長 白浜幼稚園、白浜小学校を位置とすることによろしいか。

委員 異議なし。

委員長 第2号議案の個別合意事項について協議。通園・通学支援について事務局より説明を求める。

事務局 通学支援については、必要に応じ、スクールバス等による支援を考えていきたい。

委員長 通園・通学支援については、教育委員会へ方法の提案を依頼し、今後協議することによいか。

委員 異議なし。

委員長 交流事業について説明を求める。

事務局 今後の議題として、教育委員会としても提案をしていきたい。保護者・関係者を含め、話し合っていきたい。

委員長 この議案については、引き続き検討によいか。

委員 異議なし。

委員長 P T A組織と行事について説明を求める。

事務局 今後の議題として、教育委員会としても両校P T Aに提案をしていきたい。

委員長 両校P T Aを中心に、引き続き協議を進めていくことでいかがか。

委員 異議なし。

委員長 第3号議案の再編の時期について、事務局より説明を求める。

事務局 幼稚園及び小中学校再編計画で示した平成23年4月を検討案として提案したい。

委員 北三原小学校と南三原小学校は、統合まで何年ぐらいかかったのか。

事務局 町村合併以前から基本的合意はあったと思われるが、市になってからの協議は、平成18年度後半から検討委員会で話し合いを進め、平成20年4月に統合した。

委員 約2年で統合になっている。2年後という目標を持ったらよいだろう。

事務局 目標に向けてのスケジュールを提案していきたい。

教育長 北三原・南三原は実際のところは4年位かかった。新市になって検討委員会を立ち上げ、5回の会議を5ヶ月程度の間でおこなった。

これからの推進は、あわてずに進めていきたい。地域のコンセンサスをきちんと取りたい。

委員 位置と再編期日が決まったが、対等合併か、吸収合併なのか。また、交流事業や、PTA組織については、校名などが決まってから協議しても良いのではないか。小湊中・天津中を例に取れば、校章などは生徒の投票で決めており、自分たちの学校という意識を持たせ、地域に還元できるもの、子どもに還元できるものをはっきりさせ、意識を高めてはどうか。

教育長 合併の方式は、対等合併である。

委員長 統合期日等については、地域から意見を聞く機会も必要なので、平成23年4月を考えたい。いかがか。

教育長 平成23年4月を目標としながら、少しでも早くまとめてほしい。両校の交流や諸手続きなどで、1年はすぐ過ぎてしまう。

委員 最終決定は、検討委員会の決定でよいのか。地区での説明や、様子を確認する必要があるだろう。

委員 区民にどこまで知らせてよいか確認したい。

教育長 3～4回、委員会を開催し、内部の合意が得られれば一斉に地区へ出向いて説明する。地区の意見ができればそれを検討する。このようなことを繰り返し、理解を得ていく。

委員 園児について、バス等の通園支援はあるのか。

事務局 通園・通学支援については、スクールバス等の導入を検討していきたい。具体的な内容については、これからの検討委員会で協議していきたい。

委員 スクールバスは、長尾地区だけなのか。乙浜地区はでないのか。

事務局 それらを含め、今後検討していきたい。

教育長 和田地区についても通学支援方法が最も時間がかかった。地域で合意できる線を出していきたい。

委員 公表する前段で、白浜民報に記事が出ていた。親が不安になるのではないか。

教育長 危惧しているところである。具体的なことが決定していないのに、記事だけ出ると不安をあおる。協議していないことは外に出さないようにしたい。

委員 校長は説明しないという保護者の声がある。検討委員会について理解され

ていない人もいる。真実性のないうわさを防ぐためにも、検討委員会という組織を明確にする手立てをほしい。

教育長 会議は委員が自由な意見交換をしてほしい。氏名を公表すると自由な意見が言えなくなるだろう。10ヵ年の計画は公表してある。検討委員会で決まったことを知らせていきたい。

委員 再編は、学校や校長が推進していると思われている。

教育長 校長から正しく理解してもらうよう説明してほしい。

委員 住民は不安だと思われる。決定事項を公表されてからでは意見がいいにくい。対等合併を進める中で、住民にしっかり説明してほしい。再編のメリットを訴え、子どもたちのためであることを早く伝えてほしい。

教育長 地域に早くから説明すると総論賛成、各論反対となる。検討委員会である程度まで詰めてから説明していきたい。

委員 会議は原則公開となっているが。

教育長 傍聴は問題ないが、資料は決まるまで出さないように願いたい。

委員 地域に委員会開催の情報はでているか。

事務局 ホームページで公表している。

委員 ホームページを見ないから悪いではすまない。

委員 会議のあり方を地域に知ってもらうことが大切。ホームページに載せてあるからでは冷たい。もって行き方でうまくいかなくなる。

委員長 基本的合意事項・個別合意事項を地域へ伝えて、意見を問い、推進していたらどうか。また、保護者に十分理解してもらうことを考えていかなければならないだろう。

委員 反対意見もあるだろうが、保護者に良い意見を持った人がいる。そのときに意見がもらえたら良くなるのではないか。

委員長 議事の3までは終わります。オブザーバーの方からお話を伺いたい。

オブザーバー 23年度スタートとすると22年度に予算、21年度に話し合いをまとめる必要がある。地域への説明は多くやった方がよい。

教育長 コンセンサスをなるべく早く取っていきたい。そのときはオープンにして多くの意見をもらいたい。

オブザーバー 現場の学校の説明責任もあるだろう。なるべく早く地域に説明、早く意

見をもらうようにしてほしい。

ワグザバー 子どもたちが良い環境で勉強できるようにしてほしい。

委員長 参考にさせていただきます。

それでは、第4号議案の日程について。事務局。

事務局 2月5日(木)午後7時から、この会場での開催を提案。

委員 会議スケジュール、議題等を事前に知らせてほしい。

事務局 今後のスケジュールを次回会議で示したい。

委員長 次回会議は、2月5日(木)午後7時から、フローラルホール会議室で開催。

議事は以上で終了します。

4. 閉会

事務局 これをもちまして、第2回白浜地区学校再編検討委員会会議を終了します。